

カリキュラム（案）

	担当	時間	方向性・狙い
R2、R3講義動画アーカイブ	—		各年度ごとにまとめ、各講義の概要がわかるよう説明を付して掲載。
ACPについて	稲葉委員	30分	R2年度「法的・倫理的観点を踏まえたACPの基礎知識」 R3年度「わたしの思い手帳の5つの事例を踏まえて、意思決定支援としてのACP」の流れを踏まえた講義。
パターナリズムとACP	石山委員	30分	専門職としての専門性や経験を踏まえながらも、ナラティブな支援を意識したACPを実践するにはどのようなことを考えていく必要があるのか。
病院医師が院内で取り組むACP推進	川崎委員	15分	取組としての正解を横展開していくものではなく、あくまで現在取り組んでいる一例として発表。取組の考え方やそこから見えてくる課題を共有。
自治体に取り組む地域でのACP推進	葛原委員	15分	
パネルディスカッション	全員	40分	テーマとしては「ACPって何のため？」（第1回部会議事録より） 今年度の講義も踏まえて、支援者が集まって本人と話すことがACPとして説明されることがあるが、本来アドバンス・ケア・プランニングとして「何のため」に話し合うのかという本来の目的についてディスカッションを実施。

○開催後は例年通りアンケートを実施（資料3参照）

○実施について網掛け部分はライブ配信講義にて実施。

○例年2事例取り上げているが、過去のバックナンバーを公開、講義数も増えるため、今年度なし。

講義動画のアーカイブ紹介文（案）

※テキストについてもダウンロード方式で配布予定

令和2年度	掲載文
ACPの基礎知識について	ACPの基礎として、わたしの思い手帳の作成経緯を踏まえ、「ACPとはそもそもどういった考え方なのか」というところから「ACPの必要性」、法的観点や倫理的観点を意識した意思決定支援としてどのように考えていけばよいか。多職種で検討する際の症例検討シートを用いての講義。
事例発表①【在宅医の立場から】	事前講義で紹介された症例検討シートを用いて、認知症のある方への意思決定支援について紹介
事例発表②【病院医師の立場から】	事前講義で紹介された症例検討シートを用いて、医療提供者の方針と本人や家族の意向が沿わない場合の意思決定支援について紹介
パネルディスカッション	2つの事例を踏まえて、各職種の立場からACPを踏まえて意思決定支援をする際の考え方や関わり方、他職種や同職種で連携することについて意見交換を実施
令和3年度	掲載文
ACPの基礎知識について ～わたしの思い手帳、五つの事例で考える～	令和2年度に作成した「わたしの思い手帳」に掲載されている5つの事例と「認知症の人の日常生活・社会生活の意思決定支援のガイドライン」における意思形成支援・意思表示支援・意思実現支援の理論を踏まえたACPの考え方についての講義
事例発表①【訪問看護師の立場から】	入退院を繰り返しながらも、自宅での最期を希望する本人とそれを支える家族への意思決定支援について紹介
事例発表②【地域包括支援センターの立場から】	軽度だが認知症と診断されたが、一人ぐらいを続けたい本人と今後の生活について不安を抱える娘への意思決定支援について紹介
パネルディスカッション	2つの事例を踏まえ、ACPを意識して意思決定支援をする際の「家族としての葛藤」や「専門職としての難しさ」、「実現困難な本人要望への対応の考え方」等についての有識者によるディスカッション。

御意見いただきたい事項

- 講義カリキュラムの各講義の内容（案）全般について
- ライブ配信での実施について
- 令和2年度及び令和3年度のバックナンバーの紹介文（案）について
- アンケート内容について（追加項目等）
- その他

スケジュール（案）

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討部会	第2回検討部会	講義資料作成				ライブ配信講義資料作成 ライブ配信に向けた打ち合わせ	
			講義動画撮影				ライブ配信講義
東京都		委託契約締結作業					
			募集チラシ発送・受講者募集			動画配信・アンケート集計	

○撮影日程については、個別に別途調整、撮影場所についても応相談

○パネルディスカッションの開催については必要に応じて事前打ち合わせを開催